

聞こえない世界と聞こえる世界をつなぐ ユニバーサルデザイン



日時 **2017年4月26日(水)** 19時～20時30分 (18時30分開場)

会場 **日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス(小ホール)**

参加費 **1,000円** 定員 **60名** (事前申込順、定員に達し次第締切)

※手話通訳や情報保障の準備をしております。その他必要なサポートがあればお知らせください。

講師 **松森 果林** まつもり かりん

“聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐ”ユニバーサルデザインアドバイザー
元内閣府障害者政策委員会委員 NHK「ワンポイント手話」出演

“障害者差別解消法”施行から一年。公共の場などで、障害のある方一人ひとりに合う対応をどうすべきか、悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

ここでは中途失聴となり「聞こえないことを強み」とする講師自身の体験から、聞こえない世界とはどういうものか、外見で分かりにくい聴覚障害者が日常生活や非常時に感じるバリア、コミュニケーション、情報格差について、目で見える言葉である手話の魅力について、講師が関わってきたテーマパークや羽田空港国際線旅客ターミナルなどのユニバーサルデザイン事例とともにお話しいただきます。

【講師プロフィール】

小学4年で右耳を失聴、中学から高校にかけて左耳も聴力を失う。強みは聞こえないこと。筑波技術短期大学デザイン学科卒業。在学中、東京デザインランドにおけるバリアフリー研究をきっかけに「ユニバーサルデザイン」を人生のテーマとする。(株)オリエンタル勤務を経て、現在は講演活動、大学講師、執筆のほか、分かりやすい情報の伝え方やコミュニケーション、利用しやすいモノやサービスのアドバイスをを行う。2007年より、羽田空港国際線旅客ターミナルビルのユニバーサルデザインの委員会等に関わる。また一児の母として、ママ友を集めた「井戸端手話の会」を主宰。2010年「あしたのまち・くらしづくり活動賞」振興奨励賞受賞など、幅広く活動中。著書に『音のない世界と音のある世界をつなぐ～ユニバーサルデザインで世界を変えたい！』(岩波書店・2014年)、『誰でも手話リンガル』(明治書院・2010年)、など多数。

お申し込み方法

- ① お電話 (03-3502-3340)
- ② FAX (03-3502-3341)
※FAXでお申し込みの方は、所定の申し込み用紙にご記入の上、お送りください。
- ③ Email (college@hibiyal.jp)
- ④ ご来館(1階受付)

いずれかにて参加ご希望の講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をお知らせ下さい。

※障害者手帳をお持ちの方は、ご提示により付添いの方1名様に限り無料です。
(ご本人様は参加費が必要です。)

千代田区立 日比谷図書文化館

千代田区日比谷公園1-4 (日比谷公園内)

都営三田線「内幸町駅」
A7出口／徒歩3分

東京メトロ丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口／徒歩3分

千代田線「霞ヶ関駅」
C4出口／徒歩3分

JR「新橋駅」
日比谷口(SL広場)／徒歩10分

